第８回向日市総合計画審議会会議　議事要点録

○　日　　時　　平成２１年７月２１日（火）
　　午後１時３０分から午後４時まで

○　場　　所　　向日市役所３階　大会議室

○　出席委員　　※別添「第８回出席者名簿」参照のこと

○　欠席委員　　６名

○　傍 聴 者　　６名

○　内　　容　　下記のとおり

１　報　告

・　事務局より、７月４日（土）に開催された新総合計画シンポジウムの結果についてお礼と報告を行った。

２　議　事

（１）新総合計画・基本構想（第７次案）について

「資料①　向日市新総合計画・基本構想（第７次案）」に基づき、事務局から説明があり、その後、意見交換が行われ、基本構想（第７次案）全体について審議された。

【意見の要旨】

委　員：８ページ目に「向日神社」の項目があるが、神社の由来について創建されたのは奈良時代と言われており、そのことについても触れた方が良いのではないか。

委　員：２１ページ目の「まちづくりの姿勢」の「②自立した都市経営」の表現のなかで、ひらがなが連続して続くなど読みづらいところがある。もう少し表現を整理してはどうか。

会　長：指摘の部分については修正したい。具体的にどう改めるかについては事務局と相談の上、次回の審議会でお示しする。

（２）新総合計画・前期基本計画（第３次案）について

「資料②　向日市新総合計画・前期基本計画（第３次案）」に基づき、事務局から説明があり、その後、意見交換が行われた。

【意見の要旨】

委　員：「１６　駅力を強化する」について、７／１５号の広報紙にＪＲ向日町駅の橋上化に関する記事が掲載され、また、先日のシンポジウムにおいても市民の方から意見をもらっている。予算を含めて規模の大きな事業であり、事業を進めていくためには、あまりお金のかからない形で行うなど、市民のコンセンサスが必要である。

委　員：現在の向日町駅には向日市らしい風情がない。これだけ向日町駅のことが取り上げられているなら､例えば道の駅のような特徴を持たせるなど、向日市らしさをアピールしてはどうか。

委　員：全体的に見渡して、やはり縦割りの印象が強い。例えば「１８　交流でにぎわいを創る」について、歴史文化や自然資源を商業とうまく連携させて戦略的に取り組んでいくと言った視点が必要だ。

委　員：駅の持つ力をまちの活性化に役立てるという点では、阪急洛西口駅やＪＲ桂川駅がもつ影響は大きい。この２駅を含めて、５つの駅の活力をまちづくりにどのように取り込んで活性化に繋げていくのかを計画に記述する必要があるのではないか。

委　員：「駅力」については、この小さな市に３つの鉄道駅があるという利便性を生かし、商業を含めた基盤づくりを行って、まちの活力を高めていくという趣旨で理解している。向日市には中心地としての「へそ」がないので、ＪＲ向日町駅を市の中心として重点を図るため、基盤整備を進めていくことが重要である。もちろん、住民合意が前提ではあるが。

委　員：まちづくりの基盤を整備するという点では「１５　市街地を計画的に誘導する」にも、その旨が記述されている。

委　員：いま議論した内容を含めて、１６ページの取組テーマにその旨の記述を書き加えれば良い。

会　長：向日市に鉄道駅がたくさんあり、これを「まちの利益にしていく」という趣旨を書くことが重要である。

委　員：各基本施策毎に「５年間の具体的目標」が掲げられたことは評価したいが、目標の設定について市民が望んでいることが数値化されているか疑問がある。例えば７ページや８ページなど、私にとっては抽象的すぎて何のことかわからない。また、３ページの民生委員・児童委員数の増加についても、その背景を知らないので何故７７人から８０人に増やすのか教えていただきたい。あと、「７　身近な住環境を快適にする」について、どこかに「人にやさしい道路づくり」という文言を入れて、時間がかかっても向日市はこれからも人にやさしい道を整備していくんだということを表明していただきたい。

庁内委員：民生委員・児童委員については３年に一度の任期満了ごとに定数を見直しており､前回の見直しでは７２名から７７名に増やしたところである。各市町村の定数については府が定めていることもあり、市町村の判断だけでは増やせないが、本市については、地域によっては１人の民生委員さんに係る受け持ち負担が偏在している所もあるので、人数を増やすことでこの問題を解決したいと考えている。

会　長：受け持ち人数が多い地域に割り当てることがわかるような表記を書き加えれば問題ない。

委　員：７ページの具体的目標に「景観計画の策定」が掲げられているが、私は画期的だと思う。市が持つ魅力を再構築していくためには、その具体的施策である景観計画と条例に早急に取り組むことは大変意義深い。

事務局：７ページの具体的目標のひとつである生活関連経路については、バリアフリー化済みの箇所数や総延長なども考慮したが、市のバリアフリー基本構想の重点整備地区に位置づけた路線であり、５年間に確実に実行できることでもあるので、この目標とした。また、８ページのはり湖池周辺整備について、具体的なイメージが思い浮かばないということであれば、完成予想図などを添付して補助したい。

委　員：７ページの具体的目標について、市道第２０８７号線が市のバリアフリー道路の代表的なモデルであるということがわかるような記述にすれば良いのではないか。

委　員：１７ページ目の「１７　農業を元気にする」のなかで、高齢化が進むなど担い手不足に対応するため、小学校における農業体験の推進など、次世代への取組を記述して欲しい。

委　員：２２ページ目の「２２　地域で学ぶ」において公民館やコミュニティセンター事業が記述されているが、利用している人の声を聞くという視点が欠けている。どこかに”利便性の向上に努める”という文言が必要である。また、５年間の具体的目標については利用人数などを含めた、利用率の向上を設定すべきだ。

委　員：１９ページ目の「１９　子育てを応援する」について、以前から育児休業中の第１子の継続保育をお願いしてきた。また、現在２箇所で実施されている一時保育の拡大について、いずれも基本計画で記述するべきことではないかもしれないが検討していただきたい。

副市長：保育については現在、担当課で次世代育成基本計画を策定しており、そのなかで個別に検討させていただきたい。

委　員：各重点施策毎に担当課が記述されている。それはそれで前向きで評価できるが、一方で弊害もあると思う。例えば、１８ページ目の交流分野や２３ページ目の歴史文化財について、それぞれ大きなテーマであり、担当課だけで取り組むのではなく、プロジェクトチームを作って推進していくべき分野であるが、そういった視点が欠けているのではないか。

事務局：担当課の記述については最終答申案では削除し、３２ページのとおり一覧表で対応したいと考えている。

委　員：２２ページ目の「２２　地域で学ぶ」の文化振興について、担当課が市民参画課しか記述されていない。文化は生涯学習でもあるので、担当課に生涯学習課も加えるべきではないか。また、２０ページ目の「２０　学ぶ意欲を育む」の”国語力の向上”のなかに、学校図書館に携わる人材の育成を加えて欲しい。

委　員：３２ページの一覧表については、いかにも縦割りの印象が強い。例えば、「◎」については中心となって携わる課であるといった注意書きを加えれば良いのではないか。

副市長：一覧表の表記については検討したい。また、実際の事務の執行において

は複数の部局にまたがる案件等は、プロジェクトチームのような横断型組織で対応させていただいている。

事務局：本日欠席の委員から、障害の「害」という字について、漢字から平仮名にすべきではないかという意見をいただいているが、審議会の考えをお聞かせいただきたい。

委　員：社会福祉協議会においては平仮名表記が一般的であり、世の中の流れもそうなりつつある。

委　員：社会通念上、特に問題がなければ平仮名表記で良いと思う。

委　員：特に「１６　駅力を強化する」について、市民の声を聞いて事業に取り組むという文言を加えてはどうか。

委　員：「駅力」だけでなく、計画全般において市民の合意形成のもとで事務を執行するのは当然の前提であり、それは行政が個別に考えるべき問題だ。

会　長：時間の都合上、これで審議を終了としたい。本日、多くのご意見やご指摘をいただいたが、これらについては私と事務局で預かって検討させていただき、次回の会議で最終答申案としてお示しをしたい。

事務局：次回は７／２８（火）午後１時３０分から同じ場所で審議会を開催する予定である。

会　長：次回は会議の冒頭で最終答申案について意見をいただき、了承いただいた上で市長に答申できればと考えているので、ご協力をお願いする。

以　　上